

# 稲作情報

## No1 「土づくり&種子消毒」

J A えちご中越 さんとう営農センター  
R8.3.10 発行 TEL : 0258-41-2887

### 異常気象に備えた「丈夫な稲づくり」

### 土づくりの徹底と深耕で品質向上↑・収量アップ↑↑

#### 1. さんとう管内の土壌分析結果

※ R6年度より土壌分析手法が変更となりました

単位：mg/100mg

	Ca：交換性石灰				Mg：交換性苦土				K：交換性カリ				Si：有効態ケイ酸			
	6年度		7年度		6年度		7年度		6年度		7年度		6年度		7年度	
	平均	上下値	平均	上下値	平均	上下値	平均	上下値	平均	上下値	平均	上下値	平均	上下値	平均	上下値
寺泊	185	±55	174	±60	60	±29	56	±26	16.3	±4.6	15.9	±6.0	10.7	±2.5	9.7	±4.9
和島	191	±52	163	±48	70	±18	57	±14	21.0	±8.1	16.4	±6.1	12.9	±1.7	8.8	±2.0
出雲崎	208	±71	192	±71	80	±22	69	±21	19.3	±7.4	17.3	±7.5	14.2	±2.8	10.7	±3.2
三島	217	±43	220	±55	70	±14	66	±18	23.8	±7.6	21.4	±5.7	16.5	±3.4	18.4	±3.4
与板	233	±49	215	±50	63	±18	62	±19	30.6	±9.1	30.6	±5.3	15.7	±3.4	15.7	±3.6
こしじ	166	±67	157	±69	37	±18	33	±18	21.2	±9.7	18.5	±8.8	9.9	±4.3	13.8	±7.2
平均	195	±62	178	±65	61	±25	53	±24	21.2	±8.8	18.8	±8.1	12.6	±3.9	12.3	±5.8
目標値	250.0				60.0				19				15			

- ① 高温気象の常態化により、水稻の成長と玄米の登熟に必要なさまざまな栄養成分の吸収が旺盛になっており、年々地力の低下が見られる。
- ② 必要な栄養成分の補給量（土づくり＋基肥・穂肥）が追いつかず、登熟期間に「栄養凋落」を招いて玄米品質の低下と安定収量の確保に大きな影響を及ぼしている。
- ③ 特に有効態**ケイ酸**は、R7年度の管内全地区 平均：**12.3mg**で改良目標値：**15mg**を下回っており、土壌からの溶脱や粃がらに含まれては場外へ持ち出されることで減少し続けている。

#### 2. 土壌分析結果にもとづく「土づくり対策」

##### その①：目標値に満たない成分を補い「地力の増進」を図りましょう！！

上記土壌分析結果の「目標値」は「一般的な肥培管理を行って正常な収量をあげることができる最低値」を示しており、この目標値に満たない場合は、養分の作物への供給が不十分な状態となります。地域ごとの傾向を把握し、不足している成分を補いましょう。

##### その②：「ケイ酸質の施用」で異常気象に強い稲づくりに取り組みましょう！！

【昔話】イネを形成する成分の**10%**（理想は**13%以上**）を占める「ケイ酸質」。ケイ酸が不足するとイネが軟らかくなって倒伏したり、病害虫の被害を受けやすくなり、食糧増産の時代から米づくりの重要な肥料として「ケイカル等を用いた土づくり」が盛んに行われてきました。

【現況】資材の高騰や経営規模の大型化 等により生産コストの削減や省力化が進められ、米づくりに重要な土づくりやケイ酸資材の追肥が休止・省略されてきています。水田土壌におけるケイ酸成分は、収穫した「稲わら」と「粃がら」をすべて戻すことで、計算上は減耗を防ぐことができます。しかし「粃がら」を還元しない場合には、**10aあたり20kg程度**のケイ酸成分（ニューミスター換算で約4袋）が毎年土壌から失われることとなります。

三島・与板地区は目標値を達成している項目が多いですね！

これからも頑張ろう！



©フンジャ

土壌分析結果にもとづき、さんとう地区では・・・

#### ケイ酸を主体とした土づくり資材を散布しましょう！！

おすすめ資材	参考価格と量目	特徴
① ニューミスター	1,670円（税込） 規格：15kg	ケイ酸 <b>32%</b> の他、く溶性リンを含みます。また、アルカリ成分によるpHの中和が図られ、酸性が苦手な微生物の活性が高まることで <b>稲わらの分解も活発</b> になります。
② みつパワー	1,510円（税込） 規格：20kg	く溶性マンガン <b>10%</b> の他、副成分としてケイ酸 <b>25.1%</b> ・石灰 <b>21.7%</b> ・苦土・鉄分などを含む <b>総合的</b> な土づくり資材です。倒伏に強い稲体づくりに役立ちます。
③ 農力アップ	1,840円（税込） 規格：20kg	ケイ酸 <b>20%</b> ・苦土・マンガンの他、副成分として <b>鉄分12%</b> やリンなどを含む <b>総合的</b> な土づくり資材です。また、アルカリ成分を含みpHの中和が図られ、秋落ち田におすすめです。

これらのおすすめ資材をご自身の圃場などに合わせ・・・

**10aあたり2袋以上**を目安に散布してください！！

倒伏軽減！  
登熟向上！



おすすめ使用方法  
基肥時または出穂  
40日前頃の追肥に！



おすすめ使用方法  
基肥時または出穂  
40日前頃の追肥に！



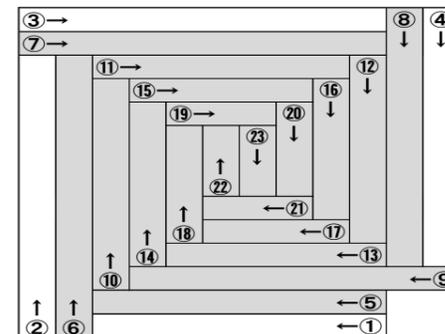
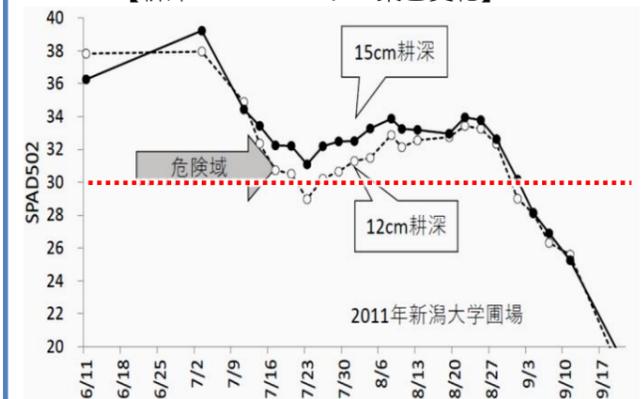
おすすめ使用方法  
秋収穫後から春の  
代かき前までに！

#### その③：「根域拡大」で登熟向上↑↑「耕深15cm」を確保しましょう！！

右のグラフは、土壌の深さの違いによるコシヒカリの葉色変化を表しています。「**12cmの浅耕**」では、生育指標の**目安とされる出穂期の葉色値30**を下回っていますが、「**15cmの深耕**」では**葉色値30以上をキープ**しています。

これは、少し耕深を深くすることで深層まで根域が広がり、根が気温（高温）の影響を受けにくくなるとともに、土壌からの養水分吸収が活性化し、**品質・収量の安定**につながることを示しています。

【耕深とコシヒカリの葉色変化】



左図のとおり①から順に「時計回り」で耕うんすることにより、トラクターのチェーンボックスが土中に入りやすくなることで深く耕すことが出来ます。「耕深**15cm**」を目標に**深耕**に取り組みましょう！！深くなりやすい枕地も傷めずに耕せますよ！！

裏面せり順下へ！！



# 「令和7年産 水稻種子」情報



## 「浸種と種子消毒」は慎重・ていねいに!!

### 令和7年産の水稻種子

令和8年播種用「コシヒカリ BL」は休眠が**深い**（県情報）と推察されています。

- ◆1 休眠の深い特性のある品種は「ていねいな浸種・催芽」を心がけましょう！
- ◆2 発生するとやっかいな「ばか苗病・いもち病」→「温湯消毒+薬剤処理」を徹底しましょう！

### ◆1 コシヒカリ・五百万石の種籾は、休眠の深い特性があることから「ていねいな浸種・催芽」を心掛けましょう!!

① 適切な浸種水温のめやす = 浸種温度 **12°C**

品 種	浸種温度 × 浸種日数	積算温度
コシヒカリBL	12°C × 10日間	120°C
新之助・こしいぶき	12°C × 8~9日間	100°C

ていねいに浸種されて十分に吸水した種籾は「籾殻が透きとおったアメ色」になります！



- ② 浸種時の低水温「**10°C未滿**」は、発芽のそろいを悪くします。特に**浸種初期**は、水温 **10°C未滿の低水温とならないよう**例年以上に注意してください。
- ③ 浸種期間は酸素不足にならないよう十分な水量（種子重量の3.5倍程度）を確保し、水の更新を適切に行ってください。（水交換は1日おき、浸種中に2回水切りの実施）
- ④ 浸種水槽に直射日光が当たらないよう屋内等で浸種してください。

### ◆2 ゆきみらいの浸種～出芽・緑化の際には特に注意しましょう!!

令和5年と令和6年に、県内の一部地域で発芽不良が確認されています。浸種・ハウス管理の際には以下の点にご留意ください。

- ① 発芽・苗立・苗質を安定して良好にするため、浸種水温は **12~15°C**としてください（浸種温度が10°C以下になると、発芽不良が頻発します）。
- ② 育苗ハウスでの出芽～緑化時に低温に遭遇しないよう、温度管理に注意してください。

### ◆3 越淡麗の浸種・催芽の際も注意しましょう!!

令和8年用越淡麗種子は、例年と同様に**備蓄種子**（令和6年産）となります。以下の点にご留意ください。

- ① 越淡麗の種子消毒は**温湯消毒を避け、薬剤消毒**（テクリードC等）を実施してください。
- ② 越淡麗の浸種水温は **10~15°C**、浸種日数 **5日程度**を目安としてください（初期の浸種温度が低い場合や浸種日数が長すぎる場合に発芽率が低下する傾向が見られます）。
- ③ 催芽は発芽状況をこまめに確認しながら伸ばしすぎに注意してください。

水稻生育情報以外にも**湯水情報**などの営農に係る情報が発信されます。



### ◆4 温湯消毒+微生物農薬の併用で「ばか苗病」の発生を防止しましょう!!

- ① 近年、ばか苗病の発生が多くなっています。
- ② ばか苗病は、発生してしまうと薬剤で防除する方法がありません。“**適正な種子消毒の徹底**”により**「発病させない」**ことが重要となります。
- ③ 温湯消毒のみの場合、化学合成農薬による種子消毒に比べて防除効果が劣ります。必ず、**微生物農薬（タフブロック）と組み合わせた「体系処理」**により、**防除を徹底**してください。
- ④ 種子籾の保管は、雑菌の付着防止の観点から、きれいなシートの上で保管してください。



ばか苗病やいもち病の「感染源」となる**稲わらや籾殻**は、育苗ハウス内・近辺から**撤去**しましょう！また、育苗床土への**くん炭**混和や育苗時の**敷材**としての使用も避けてください!!

### ～～～ 稲作情報の発行予定について（ご案内） ～～～

J A えちご中越・さんとう地区が提供する稲作情報につきまして、令和8年度より農家組合長・職員負担の軽減や経費削減に努めるべく、例年総括号を含む全**14**回の紙面発行のところ、全**9**回に変更させていただきます。また、配布については下記スケジュールにて**各月上旬頃を基本**とさせていただきます。

なお、利用者の皆様に対し紙面提供の削減に伴う情報発信力の低下を防ぐため、生育盛期の6~7月の**一部は速報号**として、**営農 LINE** や**ホームページ**で電子データを提供させていただきます。ご不便をお掛けいたしますが何卒ご理解をいただきますとともに、いち早い情報入手と利便性の良い営農 LINE を是非ともご登録いただきますようお願い申し上げます。

No.	発行予定日	提供予定情報	提供媒体
総括号	3月上旬	・令和7年産の品質概況 ・令和7年産の要因分析と次年度対策	紙面および電子データ
1		・土づくり特集 ・水稻種子情報とお知らせ	紙面および電子データ
2	3月中旬	・健苗育成の方法と準備について ・田植えと初期除草剤の使用について	紙面および電子データ
3	4月上旬	・水稻除草剤パターンと水管理について ・ワキ対策と中干し目安について	紙面および電子データ
4	6月上旬	・生育速報と幼穂形成期、中間管理について ・中干し以降の水管理と中後期除草剤について	紙面および電子データ
速報号①	6月中旬	・生育速報	電子データのみ
5	7月上旬	・生育速報と幼穂形成期、出穂予想について ・生育診断方法と穂肥、病害虫対策について	紙面および電子データ
6	7月中旬	・生育速報と穂肥、防除について ・コシヒカリの今後の管理について	紙面および電子データ
速報号②	7月下旬	・生育速報	電子データのみ
7	8月上旬	・出穂期と水管理、カメムシ対策について ・刈取目安と収穫積算温度について	紙面および電子データ
8	9月上旬	・土づくり推進資材の紹介 ・刈取状況と収穫積算温度について	紙面および電子データ

※左のQRコードを読み取り、**営農 LINE**の登録をお願いします。  
**営農 LINE**の登録方法が分からない場合は各営農センターにお問い合わせください。